

～トリプル改定引き上げ↑議会請願（陳情）行動～



## 福知山市・長岡京市・向日市で請願採択

京都医労連は、2023 春闘で高まったケア労働者大幅賃上げの流れを継続するために診療報酬・介護報酬・障害報酬引き上げ（トリプル改定）の京都府議会、府内地方議会の請願（陳情）行動を実施。

「医療・介護・福祉の現場で働くすべてのケア労働者の賃金改善と人員増のため、必要財源を確保する診療報酬・介護報酬・障害報酬等の引き上げ」意見書を国にあげてもらい請願の採択を議員に働きかける行動です。請願書には紹介議員が必要です。地方議員を訪問し、紹介議員になってもらうように、「医療・介護では賃上げがない、退職者が多く、就職する看護師・介護職員は少ない。ましてや看護師や介護職員の養成学校が閉校、学生に選択されていない、このままでは人材不足で医療・介護は崩壊、何としても診療報酬・介護報酬は引き上げるように。」と日本医労連 2022 年看護職員実態調査や医師会・看護協会も改定引き上げを求めている新聞記事などを資料とし、訴えました。

訪問した議会は、京丹後市・舞鶴市・福知山市・綾部市・南丹市・京都市・向日市・長岡京市・大山崎町・城陽市・八幡市・京都府の 11 市町・1 府の各議会の会派。その他、訪問できなかった議会には、陳情で対応。そのうち綾部市・京丹後市・向日市・長岡京市・福知山市各議会では請願趣旨説明をおこないました。この行動には、民医労北部支部、ふるさと医療福祉労組の組合員が参加しています。訪問した議員からは「コロナ禍での奮闘大変お疲れ様でした。現場の方々には心から敬意を表します。」とコロナ禍で奮闘する医療・介護労働者をリスペクトする対応していただいたことには、驚きました。また、「私の友人も看護師でよく聞いています。辞めている人が多いんですね。」「自分も介護施設の経営に関わっていて請願内容はその通りと思う。」などと共感の声が多数ありました。

福知山市・長岡京市・向日市各議会で請願が採択（9月22日現在）され、共感の輪は大きく広がりつつあります。

2023 秋闘ではさらに「大幅賃上げ、大幅増員のためにトリプル改定を」の声を大きく広げ、来年の診療報酬・介護報酬・障害報酬等の引き上げを実現させ、2024 春闘では必ずベースアップと大幅増員を勝ち取りましょう。



### 【2023 秋闘スケジュール】

- 10月19日 中央集会
- 10月27日 秋闘要求提出
- 11月08日 秋闘回答指定日
- 11月09日 秋闘統一行動日
- 11月15日 中央行動（政府交渉 & 国会議員要請） ～16日
- 11月25日 秋のナースウェーブ
- 12月 トリプル改定の改定率発表

